

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 老人クラブ運営費補助金
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	1	長寿社会の基盤づくり
主要な施策	1	高齢者の生きがいづくりの場と機会の充実
事務事業番号	004	事務事業コード 13211004 事業開始年度 昭和 4 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	老人クラブ運営費補助金
------	------	------------	-------------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 市内各地区の老人クラブの行う事業の推進。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 市内各地区の老人クラブの行う事業を推進するため、補助金を交付する。 主な事業 ・社会奉仕事業 ・世代間交流、交通安全運動 ・ゲートボール、パークゴルフ大会、室内ゲーム大会 ・芸術活動 等
成果	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 高齢者の社会参加の促進、高齢者相互の交流を図り地域社会に貢献、高齢者福祉の充実を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 老人福祉法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	老人クラブ加入数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,289	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円	756	777	756	756	756	2,268
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,562	1,643	1,594	1,594	1,594	4,782
合 計			2,318	2,420	2,350	2,350	2,350	7,050
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	765	787			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		765	787			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 各地区の老人クラブの活動を通じて高齢者の交流の場を広げ、生きがいづくりを推進するため支援する必要がある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 高齢者の社会参加を促進することができる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 加入者の増加を深め活性化を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 補助金の見直しにより、H19年度はs団体割の区分ごとに1万円を減額、H20年度はさらに1万円を減額するとともに、会員割を1人当たり100円減額して実施している。

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	老人クラブ活動を通じて交流の場を深めることにより、生きがい等高齢者福祉充実させることは必要であるが、クラブ会員の減少などから厳しい財政状況が続くと見られるので、老人クラブと協働でクラブ会員確保に向けた周知活動を続けたい。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）